



「なんで？」から「やってみよう！」へ

～アセスメントを共有するチーム支援実践の入り口～

全3回・連続研修

「強度行動障害支援者養成研修を受講したけど、支援に不安がある...」
「障害特性に配慮した支援って何だろう...」「チーム支援って難しいな...」
様々な思いを抱えて日々支援にあたっているみなさまと思いを共有しながら知識や実践スキルの
習得を目指すことを目標に、明日の支援に一步踏み出すための研修を企画しました。

日時・場所

※会場はすべて横須賀市総合福祉会館です。

- 第1回 9/30(水) 14:00-17:00 5階視聴覚研修室
- 第2回 10/26(月) 14:00-17:00 5階視聴覚研修室
- 第3回 12/2(水) 14:00-17:00 5階ホール

講師

社会福祉法人育桜福祉会 佐野 良 氏
(令和7年度6・9月実施研修会 講師)

対象

障害者支援に携わる職員(生活介護事業所の方など)
主に令和7年度研修にご参加いただいた方や強度行動障害
支援者養成研修基礎研修受講者、現に強度行動障害の支援に
困っている支援者など

定員

20名(申込多数の場合、抽選となります。)



申込は左記2次元コードまたは下記URLから

【申込期間】8/7(金)～8/24(月)

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142018-u/offer/offerList_detail?tempSeq=132612

3つのステップで学ぶ研修プログラム

STEP 1

視点の再確認

講義でポイントを確認
共通事例のアセスメント

STEP 2

事例のアセスメント

参加者の事例を
用いた事例検討

STEP 3

実践へ落とし込む

実践報告と振り返り

プログラム紹介(全3回)

1 第1回:9/30(水) 研修全体の核となる講義と共通事例による事例検討

佐野氏の講義を通し、支援における基本的な視点やアセスメントの基礎を学びます。
共通事例を通してアセスメントの視点を再確認します。
冰山モデルを用い、参加者の事例を確認し、次回の事例検討で必要となる情報を整理します。

2 第2回:10/26(月) 冰山モデルを用いた事例検討

参加者から提供された実際の事例に対し、今までに学んだアセスメントの視点をもとに
グループで事例検討を行います。必要な情報から冰山モデルを作成し、次回の研修までに
それぞれが取り組むべき支援等を洗い出します。

3 第3回:12/2(水) 実践報告とまとめ

アセスメントに基づいた支援の実践結果を共有し、実践に活かします。
佐野氏による講評の講義から、研修全体の振り返りを行います。

研修について

- ・今回の研修では、参加者の事例を用いた事例検討を行います。受講決定後、持参いただく事例の提供様式を共有しますので、記載の上で初日にお持ちください。
- ・研修1日目と2日目の終了後、それぞれのインターバル期間中に取り組んでいただく事柄があります。詳しい内容については、研修中にご説明します。
- ・この研修は全3回の研修となっています。それぞれの回のみでの申込等は受け付けることができませんので、ご注意ください。